

女性初首相の誕生で 日本のジェンダー平等は進んだのか？

全国保険医団体連合会 夏季セミナー

2026年8月2日

名古屋大学大学院 法学研究科

武田宏子

自己紹介

- 名古屋大学大学院法学研究科教授（2016年4月～）
- 専門 政治社会学、ジェンダー研究
- 主な研究トピック

「再生産」の政治、個人の日常生活と国家システムの関係のしかた、「ことば」（言説）と政治

朝日新聞

高市政権 イラン攻撃 速報 朝刊 夕刊 連載 ランキング

トップ 社会 経済 政治 国際 スポーツ オピニオン IT・科学 文化・芸能 ライフ

朝日新聞 > 連載 > 読者が語る 高市政権の行方 > 記事

インタビュー

女性初の首相誕生でジェンダー平等は進むか 見過ごされ そんな課題は

2025年10月26日 17時00分 有料記事

聞き手・上地一祐

🔖 📄

📧 f X B! ...

🗨️

コメントプラス 小西美穂さんから3件のコメント



名古屋大の武田宏子教授

高市早苗内閣が発足しました。女性初の首相誕生でジェンダー平等が進んだとの見方がありますが、その陰で見過ごされそうな課題はないのでしょうか。日英の政治とジェンダー問題に詳しい名古屋大の武田宏子教授（政治学）に、聞きました。

【特集ページはこちら】ジェンダーを考える Think Gender ➔

—女性初の首相が誕生し、世界の男女格差の状況をまとめたジェンダーギャップ指数で日本の順位は変わりますか。

日経BP 日経womanとは?

日経woman

キャリア ライフ 子育て・教育 ダイバーシティ

Woman 日経ウーマン Newslit 日経ヘルス QUAL 子育て世代

・ 締切迫る! 11月517円 初割キャンペーン

・ 2/14 読者100人会議 参加者募集

・ 今年4月「日経ウーマンWeb」に新展開

TOP > 「女性首相」の誕生も見る > 女性首相の誕生で日本のジェンダー平等進む? 見過ごされた課題は



「女性首相」の意義を問う

女性首相の誕生で日本のジェンダー平等進む? 見過ごされた課題は

企業と共通の課題…「強い女性リーダー」の誕生で、本来に弱い立場にある女性の問題が覆い隠されてしまう懸念

2025.10.04 武田宏子 | 寄稿委員 (無料)・寄稿委員限定 33 いいね

📎 📄 📧 📧 📧 📧

記事をシェアする Facebook X LINE メール 読み上げ

10月4日の自民党総裁選で、高市早苗氏が第29代総裁に選ばれました。今後衆参両院の首相指名選挙で国会議員の過半数の賛成を得られれば、日本初の女性首相が誕生します。日本のジェンダー平等は前進するのか、それとも……。政治とジェンダーに詳しい名古屋大学教授の武田宏子さんに聞きました。

ジェンダー・クオータがもたらす新しい政治 効果の検証

三浦まり 編 Miura Mari

Paridad de Género All Women's Shortlist 婦女保障名額

La parité 여성 할당제

パリテ Könsvotering 50-50 Rule クオータ Equal Division Rule Quota

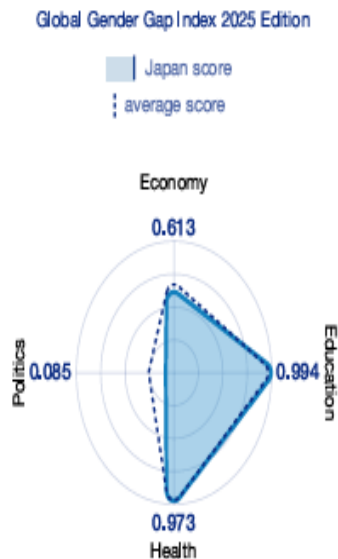
候補者男女均等法 法律文化社

本日の構成

1. 現状の確認：国際的に著しい政治分野での女性の過少代表
2. 「政治代表」とジェンダー：女性政治家に対するバイアス
3. 女性とリーダーシップ
 - 女性政治家の戦略
 - 共感に根差したリーダーシップ
4. 女性議員を増やす制度改革
 - 日本の課題
 - イギリスの事例

政治分野におけるジェンダー格差の現状

Economy Profile	Score (parity = 0, parity = 1)	Rank (out of 148 countries)	Index Edition
Japan	0.666	118th	2025



Overview

Index and Subindex	2025 Score	2025 Rank	2024 Score	2024 Rank
Global Gender Gap Index	0.666	118th	0.663	118th
Economic Participation and Opportunity	0.613	112th	0.568	120th
Educational Attainment	0.994	66th	0.993	72nd
Health and Survival	0.973	50th	0.973	58th
Political Empowerment	0.085	125th	0.118	113th

Global Gender Gap Index Indicators

2025

Indicator	Rank	Score*	Compare with Global average	Difference F-M	Female vs Male	Min Max
Economic Participation and Opportunity	112th	0.613		-	Min - Max	-
Labour-force participation rate %	81st	0.778		-15.90	55.60 71.50	0-100
Wage equality for similar work 1-7 (best)	93rd	0.603		-	-	0-100
Estimated earned income in 1 \$1,000	91st	0.592		-23.73	34.38 58.11	0-150
Legislators, senior officials and managers %	127th	0.192		-67.74	16.13 83.87	0-100
Professional and technical workers %	80th	0.924		-3.93	48.04 51.96	0-100
Educational Attainment	66th	0.994		-	-	-
Literacy rate %	1st	1.000		-	-	0-100
Enrolment in primary education %	-	-		-	-	-
Enrolment in secondary education %	1st	1.000		0.27	102.21 102.48	0-200
Enrolment in tertiary education %	112th	0.974		-1.71	63.75 65.46	0-200
Health and Survival	50th	0.973		-	-	-
Sex ratio at birth** %	1st	0.944		-	-	0-100
Healthy life expectancy** years	58th	1.040		-	-	0-100
Political Empowerment	125th	0.085		-	-	-
Women in parliament %	115th	0.186		-68.60	15.70 84.30	0-100
Women in ministerial positions %	124th	0.111		-80.00	10.00 90.00	0-100
Years with female/male head of state (last 50)	81st	0.000		-50.00	0 50.00	0-50

政治分野におけるジェンダー格差の現状

- 女性の過少代表
 - 衆議院
 - 女性議員比率：14.6%
 - 列国議会同盟（IPU）ランキング：147／181位（2026年6月）
 - 参議院
 - 女性議員比率：29.8%（2025年）
 - 地方議会
 - 平均: 17.8%
 - 東京特別区：36.0%
 - 町村議会：14.1%（都道府県議会：14.6%）
 - 「パリテ」議会(50:50)も存在：大磯町、杉並区、武蔵野市、日進市、宝塚市など
- 女性の過少代表を是正する取組
 - 男女共同参画基本法（1999年）
 - 第5次男女参画基本計画（2020年）：2025年までに候補者の女性比率を35%
 - 第6次男女参画基本計画（2026年）：2030年までに候補者の女性比率を35%
 - 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律（2018年）
 - 第4条：政党（政治家を選出する際のゲートキーパー）に対する努力義務
 - 2021年度改正：目標の設定、候補者選定過程の改善、人材育成、ハラスメント対策

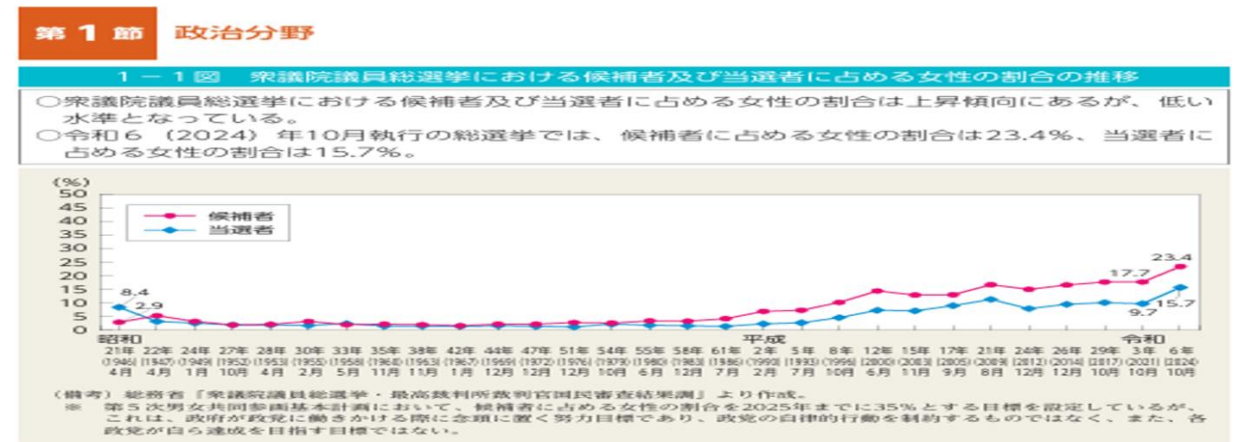
Averages as of 1st June 2026

[View monthly ranking](#) →

[API](#) [XLS](#) [CSV](#)

Global averages			
	Lower chamber and unicameral	Upper chamber	All chambers
Total MPs	37,613	7,107	44,720
Gender breakdown known for	36,932	7,004	43,936
Men	26,805	5,025	31,830
Women	10,127	1,979	12,106
Percentage of women	27.4%	28.3%	27.6%

https://data.ipu.org/women-averages/?date_year=2026&date_month=05



https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r07/zentai/pdf/r07_06.pdf

現状：第51回衆議院選挙（2026年2月）

政党ごとの候補者数・当選者数と女性比率

	候補者数	うち女性	女性候補者比率 (%)	当選者	うち女性 (小選挙区／比例)	女性議員比率 (%)
自由民主党	337	43	12.76 (-3.32)	315	39 (25/14)	12.38 (+2.43)
日本維新の党	89	13	14.61 (-3.07)	36	1 (0/1)	2.78 (-7.75)
共産党	176	67	38.07 (+0.78)	4	2 (0/2)	50 (+12.5)
社会民主党	15	5	33.33 (+3.92)	0	0	0
国民民主党	104	26	25 (+3.57)	28	8 (3/5)	28.57 (+7.15)
中道改革連合*	236	47	19.92	49	8 (0/8)	16.33
れいわ新撰組	31	12	38.71 (+4.42)	1	0	0 (-44.44)
参政党	190	82	43.16 (+5.27)	15	8 (0/8)	53.33 (-13.34)
減税日本・ゆうこく連合	18	1	5.56	1	0	0
安楽死制度を考える会	2	0	0	0	0	0
日本保守党	20	5	25 (+5.77)	0	0	0 (-50)
チームみらい	14	3	21.43	11	2	18.18
その他	52	9	17.31	5	0	0
合計	1284	313	24.38 (+1.02)	465	68	14.6 (-1.1)

*前回総選挙実績

候補者
立民 22.36%
公明 16.0%

当選者
立民 30 (19/11)/148
20.27%
公明 16.67%

現状： 各政党における男女共同参画の取組状況

各政党の男女共同参画の取組状況：女性候補者の増加をめぐって

	自民党	維新の会	国民民主党	立憲民主党	参政党	公明党	共産党	社民党
(1)	✓		✓	✓		✓	✓	✓
(2) ①	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
(2) ②	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓
(3) ①	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
(3) ②	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
(4)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

(1) 女性議員に関する数値目標

(2) 人材発掘・育成の取組

①（立候補前の）候補者となりうる女性の人材発掘・育成のための取組 ② 候補者の選考過程における取組

(3) 女性候補者・女性の新人当選者に対する支援等

① 女性候補者に対する支援 ② 女性の新人当選者に対する支援

(4) 男女問わず議員が活躍しやすい両立支援策（議員活動と家庭生活（出産、育児、介護等）の両立のために行っている取組や支援、議員活動と家庭生活の両立のために見直した慣行や制度等）

内閣府男女共同参画局「各政党における男女共同参画の取組状況と課題」（2025年4月）

<https://www.gender.go.jp/policy/seijibunya/pdf/r06.pdf>

政治家と有権者の関係:「政治代表」の類型



- 政治代表：間接民主主義において、有権者の意思や利害を政治の意思決定過程に媒介する存在
- 選挙区の「代表」＋国民全体の「代表」
- 代表する者（＝議員）と代表される者（＝有権者）との関係性
 - Hannah Pitkin (1967) *The Concept of Representation*, Berkeley, CA: The University of California Press（ハンナ・ピトキン『代表の概念』名古屋大学出版会、2017年）
 - 「描写的」代表 (descriptive representation): 人や事物が対象をそれらに十分似ていることによって写し出すという代表観
 - 「象徴的」代表 (symbolic representation): 対象を「写し出す」のではなく「象徴する」という代表観
 - 「実質的」代表 (substantive representation): 代表される者（＝他者）のために実際に行う行為をすることを重視する代表観
 - 代表が何をするのか
 - どのような行うのか
- 「描写的代表」が存在を写し出す代表される者たちのために行うとは限らない
 - 「クリティカル・マス」論の破綻：女性代表の数が増えても、ジェンダー平等は実現されず
 - 「クリティカル・アクター」（＝実質的代表）の重要
 - ただし、女性が女性集団の「実質的代表」として政治活動を行うことには特有の困難さが存在

政治代表とジェンダー

- 近代政治思想に埋め込まれた「公私二元論」
- 政治の世界に対する「他者」としての女性
 - 女性が政治に参入することの難しさ
————→ 女性政治家の少なさ
 - 女性が政治家として評価されることの難しさ
 - 「良い」政治家像と「男性性」の結びつき
 - 感情的にはならず、合理的判断を下す
 - 「強い」リーダーシップを発揮する
 - 対立を恐れず、敵対者を圧倒する ———→ 支配的に行為する
 - 女性政治家／候補者は、男性以上に政治家としての資質を証明することが求められる
 - 「女性性」に距離を置く女性政治家
「私は女性問題に取り組まないと意識的に決意したわけではない。…ただ、女性問題には特に興味を持っていないだけなのである。私は自分のことを常にひとりの議員と考えてきたのであって、女性議員とは考えてこなかった。」
バーバラ・キャッスル、労働党所属英国議会議員（1945～1979）

「行儀の良い女性は滅多に歴史を作らない。」

キャロライン・ルーカス、緑の党所属英国議会
(2010 ～ 2024)

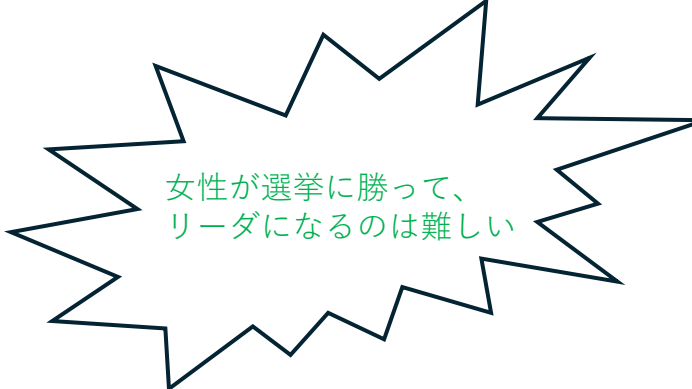


Barbara Castle
[bbc.co.uk/news/uk-england-lancashire-43325442](https://www.bbc.co.uk/news/uk-england-lancashire-43325442)



Caroline Lucas
<https://members.parliament.uk/member/3930/portrait>

女性政治家に対するバイアス①



女性が選挙に勝って、
リーダーになるのは難しい

- アメリカでの研究 + 日本での研究
 - Endo, Y. & Ono, Y. (2023) 'Opposition to Women Political Leaders: Gender Bias and Stereotypes of Politicians among Japanese Voters' (女性の政治リーダーへの反対—日本の有権者の間でのジェンダー・バイアスと政治家に関するステレオタイプ) , *Journal of Women, Politics & Policy*, Vol. 44, No. 3, pp. 371-386.
 - 女性の政治家に関するステレオタイプ
 - 性質：愛情深く優しい、親切、共感的、すすんで他者を助ける、他者に配慮し、気持ちを慮る、面倒見が良い、温和
 - ↔ 男性政治家：支配的で、熱烈、攻撃的
 - 政策領域：子育て、教育、社会保障、環境問題
 - ↔ 男性政治家：防衛、外交、経済問題、犯罪
 - 有権者がステレオタイプを保持していると認識していることから、女性は選挙への出馬に消極的である傾向が存在する

女性政治家に対するバイアス②

- アメリカでの研究 + 日本での研究
 - 選挙におけるステレオタイプの影響
 - 候補者が親であることを強調するようなステレオタイプが活性化される状況では、ジェンダー・ステレオタイプは有権者の選択に特に影響する
 - 女性候補者が「女性性」を強調すると、政治家としての資格がないと見なされる傾向が観察される
 - 女性候補者が「男性性」に結びつくステレオタイプを強調すると、支持されにくい傾向が観察される
 - 他方で、党派性の影響の強さなどの要因が、ジェンダー・ステレオタイプの投票行動に対する影響力を打ち消すと指摘する研究も存在している
 - 日本の場合
 - いまだに実証的研究は限定的
 - 女性候補者は男性候補者に対して選挙活動において一般的に不利である
 - 女性候補者がジェンダーに基づいた行動規範から逸脱すると、支持を失う可能性が高い
 - 日本の有権者は候補者に対して必ずしも否定的な態度を示すわけではない。ただし、有権者がジェンダー・ステレオタイプを保持していると認識していることから、女性は選挙への出馬に消極的である傾向が存在する

女性政治家に対するバイアス②

女性が選挙に勝って、
リーダーになるのは難しい

- アメリカでの研究 + 日本での研究

- 選挙におけるステレオタイプの影響

- 候補者が親であることを強調するようなジェンダー・ステレオタイプは有権者の選択に
 - 女性候補者が「女性性」を強調すると、と見なされる傾向が観察される
 - 女性候補者が「男性性」に結びつくステレオタイプを強調すると、支持されにくい傾向が観察される
 - 他方で、党派性の影響の強さなどの要因が、ジェンダー・ステレオタイプの投票行動に対する影響力を打ち消すと指摘する研究も存在している

だとしたら、一体どうすればいいの？

状況では、ジェン

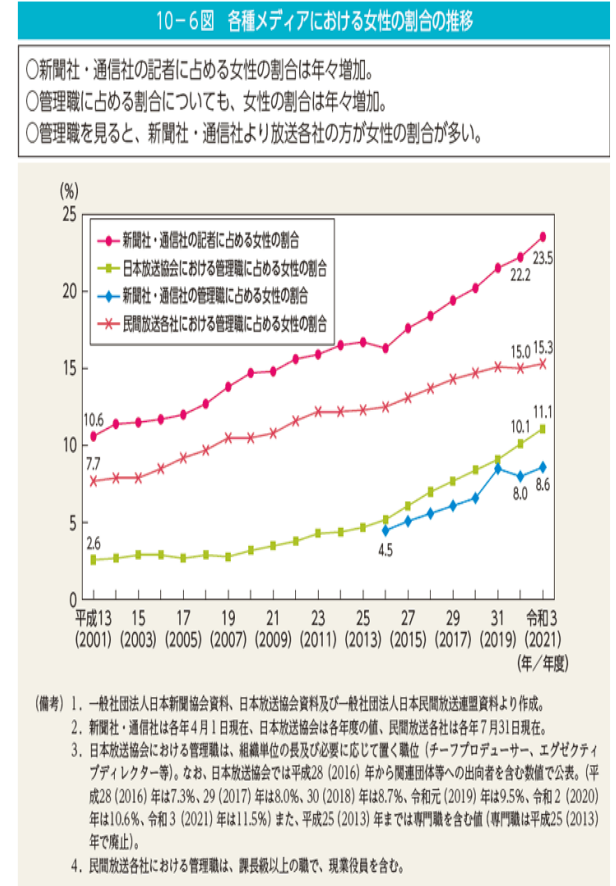
- 日本の場合

- いまだに実証的研究は限定的
 - 女性候補者は男性候補者に対して選挙活動において一般的に不利である
 - 女性候補者がジェンダーに基づいた行動規範から逸脱すると、支持を失う可能性が高い
 - 日本の有権者は候補者に対して必ずしも否定的な態度を示すわけではない。ただし、有権者がジェンダー・ステレオタイプを保持していると認識していることから、女性は選挙への出馬に消極的である傾向が存在する

女性政治家に対する視線

- マスメディア：「政治」を有権者に伝える機能
- マスメディアを通じて描かれる政治に従事する女性
- マスメディアにおける男女共同参画の停滞
- 男性中心の視点から「他者」かつ「少数者」として「対象化」される傾向
 - ステレオタイプが頻繁に持ち出され、女性政治家が評価される
 - 過度な「女性性」の強調
 - 容姿や年齢、家族関係、服装、化粧などへの注目
 - 容姿端麗でないと、からかいや攻撃の対象とされる
 - 姓ではなく名前や愛称で呼ばれる
 - ステレオタイプに適合的でない行動をした場合、批判や攻撃の対象となる
- 女性を政治から遠ざける効果
- SNS利用の拡大

本編 > 1 > III > 第10分野 > 第6図 各種メディアにおける女性の割合の推移



男女共同参画白書 令和4年版

https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r04/zeantai/html/zuhyo/zuhyo10-06.html

女性政治家に対する視線

2.女性議員が受けるSNS上の深刻な被害

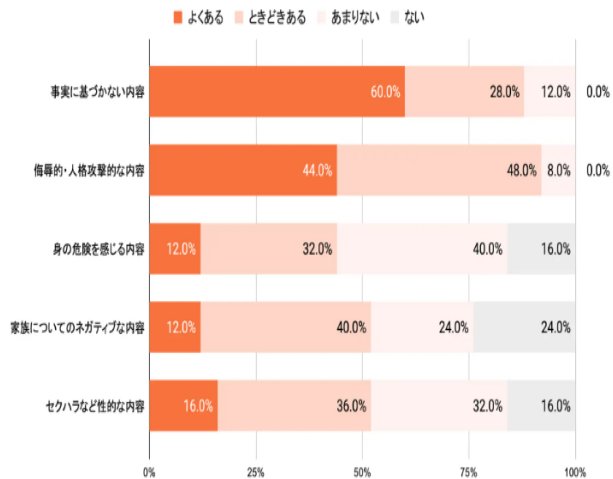
誹謗中傷の経験について、男女別（男性81名・女性25名・性別無回答3名）に分析したところ、いずれの項目でも女性議員のほうが「ある」の割合が高くなりました。

特に「侮辱的・人格攻撃的な内容」が「ある」としたのが92.0%、「事実に基づかない内容」が「ある」としたのが88.0%で、女性議員のほうが負担を感じていることがわかりました。

男性議員との比較では、「セクハラなど性的な内容」で46.9ポイント、「家族についてのネガティブな内容」で38.2ポイント、女性議員のほうが「ある」の比率が高くなりました。

<女性議員>

Q.自身に対する正当な批判や論評の域を超えた誹謗中傷はどのくらいありますか？(n=25)



立候補決断から投開票までの障壁 ②

- 地方議会議員において、女性と男性で回答割合の差が大きかった上位3項目は、「政治は男性が行うものだという周囲の思い込みやそれによる慣習・環境」、「周りに同性の候補者が少なく（おらず）、気軽に相談する相手がいな
い」、「専門性や経験の不足」であった。
- 選挙の当落を問わず女性と男性で回答割合の差が大きかった項目は、「政治は男性が行うものだという周囲の思い込みやそれによる慣習・環境」であった。

○ 各調査項目について、「非常に大きな課題となった」又は「課題となった」と回答した割合（性差ポイント順 上位5項目）

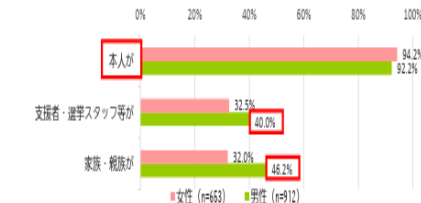
対象		立候補をしたが当選しなかった人		地方議会議員	
調査項目		立候補を決断してから投開票が行われるまでの課題とその程度		立候補を決断してから当選するまでの間の課題とその程度	
順位	回答項目	性差ポイント (女性-男性)		回答項目	性差ポイント (女性-男性)
1	地元の有力者や有力団体の理解やサポートが得られない	▲16.1	42.8% (15位)	政治は男性が行うものだという周囲の思い込みやそれによる慣習・環境	+31.1
2	知名度の不足	▲14.7	42.8% (15位)	周りに同性の候補者が少なく（おらず）、気軽に相談する相手がいな い	+23.4
3	政党の公認や推薦、支援が得られない（希望する選挙区に立候補できない）	▲11.6	53.7% (8位)	専門性や経験の不足	+20.2
4	政治は男性が行うものだという周囲の思い込みやそれによる慣習・環境	+10.5	46.3% (16位)	侮辱的な言動・嫌がらせや、ハラスメントを受けた	+19.2
5	選挙運動とその準備の方法が分からない	▲7.1	56.1% (4位)	自身や家族のプライバシーが確保されない	+14.7
5	—	—	56.1% (4位)	仕事や家庭生活（家事、育児、介護等）のため、選挙運動や日常の政治活動にかける時間が確保できず両立が難しい	+14.7

※（ ）は男女内における各名簿順位。

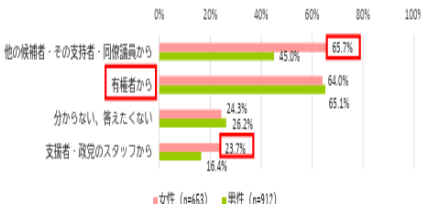
地方議会議員におけるハラスメントの状況

- ハラスメントの対象者について、男女ともに「本人が」と回答した割合が最も高かった。また、「家族・親族が」、「支援者・選挙スタッフ等が」対象となったと回答した割合は、男性回答者の方が高かった。
- ハラスメントの行為者について、男女ともに「有権者から」と回答した水準が高かった。また、「他の候補者・その支持者・同僚議員から」、「支援者・政党のスタッフから」と回答した割合は、女性回答者の方が高かった。
- 議員本人が受けたハラスメントの内容について、「性別による無意識の思い込みからくる侮辱的な態度や発言」、「触る、抱きつく等の身体的な接触や付きまとい、ストーキング」、「性的な言葉等による嫌がらせ」と回答した割合は女性議員の方が高かった。

○ ハラスメント対象者（女性の回答割合順、複数回答）



○ ハラスメント行為者（女性の回答割合順、複数回答）



○ 本人が受けたハラスメントの内容（女性の回答割合順 上位5項目）

対象	地方議会議員	
順位	回答項目	女性
1	暴力的な言葉（ヤジを含む）による嫌がらせ	72.0% (1位)
2	性別による無意識の思い込みからくる侮辱的な態度や発言	66.5% (4位)
3	SNS等によるインターネット上での誹謗・中傷、嫌がらせ	54.0% (2位)
4	触る、抱きつく等の身体的な接触や付きまとい、ストーキング	49.3% (6位)
5	性的な言葉等による嫌がらせ	48.6% (7位)

※（ ）は男性における各名簿順位。

※ 女性（n=113）、男性（n=144）

弁護士ドットコム株式会社

「誹謗中傷に対する政治家の意識調査」

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000519.000044347.html>
(2025年7月)

内閣府男女共同参画局

「女性の政治参画への障壁等に関する調査研究報告書（概要）」

<https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/pdf/local-councilor-r6/overview.pdf>
(2025年3月)

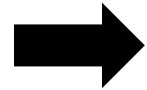
日本の新聞による女性政治家の報道

- 田中東子（2024）「なぜ女性政治家は少ないのか？—政治とジェンダー、政治家のメディア表象について」荻上チキ編著『選挙との対話』青弓社、93－114頁
- 1983年以降に朝日新聞に掲載された「女性と政治」をテーマにした記事の分析
 - 女性による政治への参加をテーマにした記事には3つの時期が存在する
 - ① 1986年男女雇用機会均等法施行～1989年参院選マドンナ旋風
 - 女性候補・女性議員＝イロモノ：ソフトさ、華やかさ、タレント議員、「マドンナ」
 - 女性の擁立：政党イメージの向上戦略
 - ニュースバリュー
 - ② 1999年男女共同参画基本法公布前後～2010年代前半
 - 地方議会選挙や都道府県知事選の女性候補や女性議員を対象とする記事が増え、報道のすそ野が広がる
 - 小泉政権（2001～2006）＆民主党政権（2009～2012）での女性議員の増加
 - ③ 2012年第二次安倍政権以降
 - 女性議員を「イロモノ」とみなす視線への反省
 - 野田聖子「女性であることで軽く見られる。政策より顔や容姿で判断される。」
 - 性別に基づく差別的な呼称（マドンナ、ガールズ）を批判的に振り返る
 - セクシュアル・ハラスメント問題への言及
 - 女性議員の増加を阻む社会構造や制度への着目＋具体的対策の検討



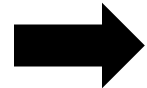
女性の政治家が直面する二律背反

- 「プロフェッショナル」な政治家として振る舞えば、あるべき「女性」のステレオタイプから外れてしまい、男性だけではなく「女性」のステレオタイプに愛着を持つような女性に対しても「他者」となってしまう



批判

- 対して、「女性」らしく振る舞えたとしたら、それはそれで政治家としての資質に対して疑問符がつけられてしまう



批判

この難問をどのように解決するのか？

女性政治家たちの戦略



「女王蜂」戦略

- 合理的判断を下す有能さ
- 経験の豊富さ
- 十分な体力
- 軍事・安全保障への積極的関与
- 華やかさ & 美しさ
- 新規参入者には敵対的



- 「嫌な女」の意味の転換



女性政治家たちの戦略

- 「ガラスの崖」 (glass cliff)

いけ機落
お就危き
にに突
状態に
的ヨう
機シた
危ポれ
の待は
で、期
組織ッ
組シが
のーが
どダあ
な一が
党リ向
政が傾
や性束
業女れ
企てら

り組織能
滑こ組
にるが
うあ性
のよで
か能た
る可れ
あが不
でと見
製こと
ス登ら
ガラし
はか敗
崖下失
この時
こやす
やから
内力の

その後、男性がリーダーシップのポジションに就任する。



https://www.independent.co.uk/news/long_reads/glass-cliff-female-leaders-women-boardrooms-research-gender-pay-gap-reporting-a8312666.html

「共感」リーダーシップの可能性

- リーダーシップや政治と男性性の結びつきを問い直し、女性性を基礎として再構築する試み
- ジェシнда・アーダーン前ニュー・ジーランド首相による「共感」に基づいたリーダーシップ論
- 首相在任中から、**親切さ、ケア、共感**を自身の政治姿勢の中核に据え、首相としての統治行為に携わる
 - コロナ禍で国民に直接語りかる
 - 移民を含めたテロ行為の犠牲者に寄り添う
 - 暴力行為には断固として反対（→迅速に銃規制のための制度改正を実行）
- 分断が進む状況での政治的可能性



<https://www.theguardian.com/world/ng-interactive/2025/may/31/jacinda-ardern-kind-leadership-public-rage-life-trump-america>



「共感」リーダーシップの可能性

義、異心露前ハたど、
定、異心露前ハたど、
にな、た、あ、う、け、
う、き、た、感、し、た、こ、
よ、で、ま、私、の、い、っ、な、
の、定、は、分、な、い、だ、
ど、決、と、い、自、れ、な、い、
が、は、で、た、し、し、虫、れ、も、
間、に、ま、い、り、も、も、し、
時、私、れ、思、あ、か、か、泣、も、
た、こ、と、で、る、た、か、ま、
しか、が、た、切、あ、つ、り、は、
ご、の、私、き、親、で、あ、つ、
過、る、で、親、で、あ、つ、
が、な、は、明、で、母、で、あ、
私、に、私、証、細、教、で、あ、
で、と、を、織、る、ン、ク、あ、
会、こ、も、と、き、モ、タ、で、
議、る、ど、こ、で、ル、オ、キ、
の、れ、る、性、に、モ、好、の、
こ、さ、け、な、配、わ、は、グ、
こ、さ、け、な、配、わ、は、グ、

I cannot determine what will define my time in this place. But I do hope I have demonstrated something else entirely. That you can be anxious, sensitive, kind and wear your heart on your sleeve. You can be a mother, or not, an ex-Mormon, or not, a nerd, a crier, a hugger – you can be all of these things, and not only can you be here – you can lead.

Just like me.

ちょうどわたしみたいに。

アーダーンによる議会での最終演説

(2023年4月5日)

<https://www.theguardian.com/world/2023/apr/05/ja-cinda-arderns-valedictory-speech-in-full>

「共感」リーダーシップの可能性

義。異心露前いハたど、
定いくはを以る、しれな
になち情、ありうけはな
うきった感じ。たこいで
よでま私のいい。ないだけ
の定は。分ない。ないだけ
ど決とい。自れでなしる
がはでた、しし虫れもき
間にまいりももきしかで
時私れ思あか泣もるが
た、ことであるた、かま
しかがた切あつりるはこ
この私き親であつるはこ
過る、で、親であつるはこ
がなは明で母徒あがでと
私に私証細。教であつる
でと、を織る。ンクあべ議
会こもと、きモタですの
議るどこで、ルオきの国
のれれる性にも、好この
こさけな配わははグここ

I cannot determine what will define my time in this place. But I do hope I have demonstrated something else entirely. That you can be anxious, sensitive, kind and wear your heart on your sleeve. You can be a mother, or not, an ex-Mormon, or not, a nerd, a crier, a hugger – you can be all of these things, and not only can you be here – you can lead.

ちょうどわたしみたいに。

描写的代表の
重要性

like me.

アーダーンによる議会での最終演説

(2023年4月5日)

<https://www.theguardian.com/world/2023/apr/05/ja-cinda-arderns-vaedictory-speech-in-full>

制度改正：第51回衆議院選挙（2026年2月）

政党ごとの候補者数・当選者数と女性比率

	候補者数	うち女性	女性候補者比率 (%)	当選者	うち女性 (小選挙区／比例)	女性議員比率 (%)
自由民主党	337	43	12.76 (-3.32)	315	39 (25/14)	12.38 (+2.43)
日本維新の党	89	13	14.61 (-3.07)	36	1 (0/1)	2.78 (-7.75)
共産党	176	67	38.07 (+0.78)	4	2 (0/2)	50 (+12.5)
社会民主党	15	5	33.33 (+3.92)	0	0	0
国民民主党	104	26	25 (+3.57)	28	8 (3/5)	28.57 (+7.15)
中道改革連合*	236	47	19.92	49	8 (0/8)	16.33
れいわ新撰組	31	12	38.71 (+4.42)	1	0	0 (-44.44)
参政党	190	82	43.16 (+5.27)	15	8 (0/8)	53.33 (-13.34)
減税日本・ゆうこく連合	18	1	5.56	1	0	0
安楽死制度を考える会	2	0	0	0	0	0
日本保守党	20	5	25 (+5.77)	0	0	0 (-50)
チームみらい	14	3	21.43	11	2	18.18
その他	52	9	17.31	5	0	0
合計	1284	313	24.38 (+1.02)	465	68	14.6 (-1.1)

*前回総選挙実績

候補者
立民 22.36%
公明 16.0%

当選者
立民 30 (19/11)/148
20.27%
公明 16.67%

制度改革：女性候補者支援の内容

自民党

- ・女性候補者（衆議院支部長）支援金制度（給付額100万円）
- ・子育て・育児支援金制度（男女問わず、給付額未就学児1人100万円、2人目以降は50万円）
- ・メンター制度
- ・党ホームページ内に、女性議員・候補者に関する情報を集約したサイトを公開（再掲）
- ・女性候補者人材のデータベース登録者へのOJTの実施
- ・女性局の選挙活動ツールの提供
- ・応援弁士派遣・女性局メンバーによる事務手伝い

日本維新の会

- ・現職、新人に関わらず期間中のベビーシッターなど利用の助成制度
- ・女性候補者同士の意見交換会（悩み相談会等も含む）
- ・日々の街頭演説等の活動へダイバーシティ推進局として帯同

立憲民主党

- ・票ハラなどのハラスメント防止対策、資金支援、政治・選挙活動支援
- ・選挙実施以前の研修会の実施、選挙本番中の支援（女性候補者集会の開催協力等）等
- ・女性新人候補者貸付制度を設置
- ・ケアラー支援制度を設置
- ・希望する女性候補者一人ひとりにメンター制を採用
- ・ジェンダー平等推進本部と選挙対策委員会とで「女性候補者支援チーム」を結成し、日常活動などの相談・支援を実施
- ・「全国女性キャラバン」の実施

公明党

- ・新人の候補者に向けて、「候補研修テキスト」を作成し、各都道府県本部や総支部において、勉強会を開催
- ・女性候補者に対し、可能な限り現職女性議員や、議員OG、個別のアドバイスやサポートを実施。何でも気軽に相談できるような体制を作っている

日本共産党

- ・候補者の性別に関わらず、政策決定、宣伝や組織活動、財政など、選挙活動のすべてを党の責任で行い、候補者の負担を軽減している
- ・状況に応じて子育て中の候補者のサポート担当を配置するなど、支援体制をとるようにしている
- ・議員、候補者の活動交流

参政党

- ・候補者の性別にかかわらず、広報物を簡単に作成できるフォームの提供や選挙戦略、収支報告等、選挙に関わることを本部・支部がサポートし、候補者の負担を軽減している。

社会民主党

- ・女性に特化したものではないが、新人候補者には財政支援を行っている

国民民主党

- ・メンター制度・・・立候補から議会活動までを先輩議員などが伴走支援する制度
- ・カフェテリアプラン支援制度・・・介護や育児の負担を軽減するためベビーシッター代支援などのメニューを自由に選べる制度。
- ・代表直相談制度・・・代表と候補者が定期的にミーティングを実施する制度。
- ・都道府県連に対するカフェテリアプラン支援制度に関する財政的支援
- ・政党幹部の派遣応援・選挙におけるハラスメント（票ハラ）の防止ならびに被害対応について、ハラスメント防止のための行動規範等を党本部から周知

内閣府男女共同参画局
「各政党における男女共同参画の取組状況と課題」より抜粋

制度改正：女性候補者支援の内容

自民党

- ・女性候補者（衆議院支部長）支援金制度（給付額100万円）
- ・子育て・育児支援金制度（男女問わず、給付額未就学児1人100万円、2人目以降は50万円）
- ・メンター制度
- ・党ホームページ内に、女性議員・候補者に関する情報を集約し、リンクを公開（再掲）
- ・女性候補者人材のデータへ録者へのOJTの実施
- ・女性局の選挙活動ツールの提供
- ・応援弁士派遣・女性局メンバーによる事務手伝い

立憲民主党

- ・票ハラなどのハラスメント防止対策、資金支援、政治的支援
- ・選挙実施以前の研修支援（女性候補者）

日本共産党

- ・性別に関わらず、政策決定、組織活動、財政など、選挙活動に必要とする支援

国民民主党

- ・メンター制度・・・立候補から議会活動までを先輩議員などが伴走支援する制度
- ・カフェテリアプラン支援制度・・・介護や育児の負担を軽減するためベビーシッター代支援などのメニューを自由に選べる制度。
- ・代表直相談制度・・・代表と候補者が定期的にミーティングを実施する制度。
- ・都道府県連に対するカフェテリアプラン支援制度に関する財政的支援
- ・政党幹部の派遣応援・選挙におけるハラスメント（票ハラ）の防止
- ・選挙活動における被害対応について、ハラスメント防止のための行動規範等を党本部から周知

「老舗」政党で女性候補者が少ない

- ・現職議員
- ・政権交代の少なさ
- ・候補者支援策がいかされない

日本維新の会

- ・現職、新人に関わらず期間中のベビーシッターなど利用の助成制度
- ・女性候補者同士の意見交換会（悩み相談会等も含む）
- ・日々の街頭演説等の活動へダイバーシティ推進局として帯同

公明党

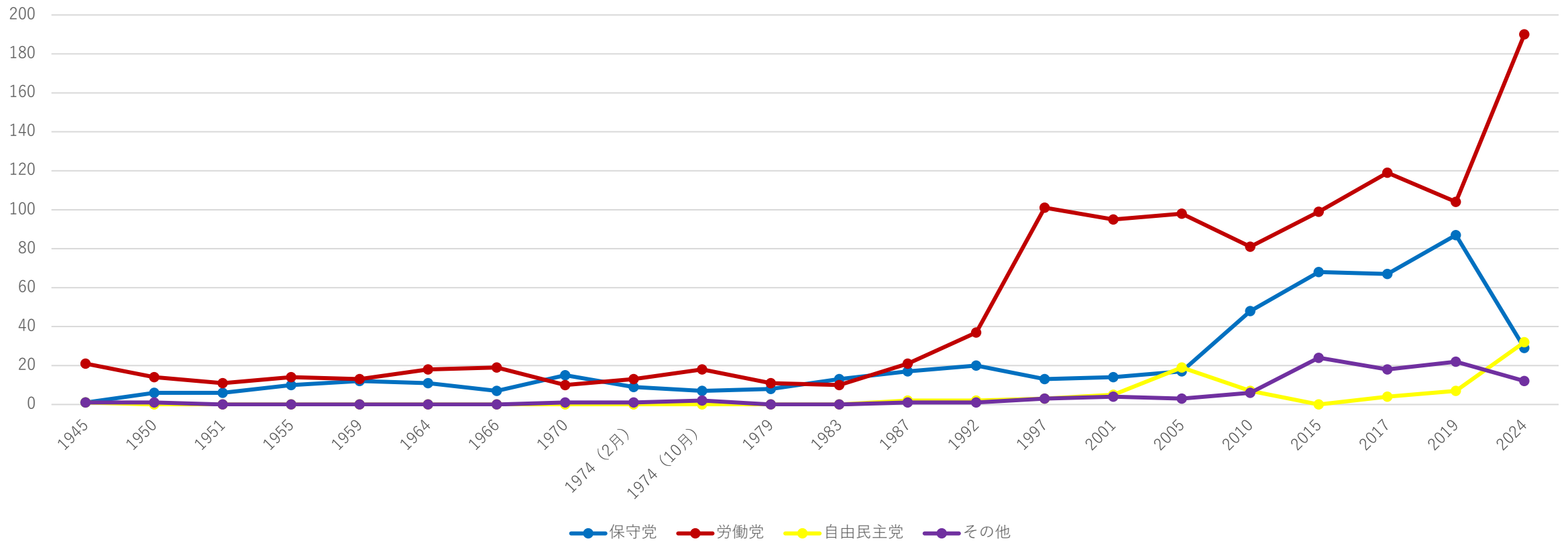
- ・新人の研修プログラムと作成
- ・府県本部・総支部において女性候補者を支援
- ・女性候補者に対し、現職女性議員や、議員の個別のアドバイスやサポートを実施。何でも気軽に相談できるような体制を作っている

党

- ・選挙活動に特化したものではないが、新人候補者には財政支援を行っている

内閣府男女共同参画局
「各政党における男女共同参画の取組状況と課題」より抜粋

イギリスの事例： 庶民院における女性議員数の推移(1945~2024年)



イギリスの事例：労働党と保守党



労働党

- 女性指定選挙区の義務化
 - 現職議員が引退を予定している選挙区
 - 勝ち目が高い選挙区
- トップダウン型で実施の確保
- 党の意思決定組織にクォータ制の適用
- 女性候補者支援策
- 「女性指定選挙区」選出の議員が他の議員と比較して、資質や能力、経験に劣るとは実証されない



保守党

- 男女均等の優先候補者リスト
- 女性候補者支援策
- 地方支部や草の根党員の抵抗を受け、男女均等候補者リストの実施が徹底されず
- 現在でもクォータ導入には消極的



「資質と能力」の重視

2026年7月17日（金）

[トップ](#) | [最新記事](#) | [特集](#) | [連載](#) | [政治](#) | [経済](#) | [国際](#) | [社会](#) | [暮らし](#) | [スポーツ](#) | [カルチャー](#) | [地域](#) | [オピニオン](#) | [スポニチ](#)

【夏得】3カ月50%OFFで読み放題キャンペーン中！

社説・解説を担当する論説委員のポッドキャストが始まりました

自民、女性議員増に向け提言 比例名簿への優先登載を要請

政治 | 最新記事

毎日新聞 | 2026/7/13 20:03 (最終更新 7/13 21:16) 718文字



稲田朋美氏

自民党の「女性と選挙PT（プロジェクトチーム）」（稲田朋美座長）は13日、女性議員の増加に向けた提言をまとめ、党の女性活躍推進特別委員会に報告した。提言は、女性国会議員の割合を2033年までに30%に引き上げる党の計画達成に向け、衆院選比例代表名簿への優先的な登載を要請。来春の統一地方選で「女性議員ゼロ議会」の解消を目指し、各都道府県連で具体的な目標を設定し、支援策を検討すべきだと提起した。

2026年7月17日（金）

[トップ](#) | [最新記事](#) | [特集](#) | [連載](#) | [政治](#) | [経済](#) | [国際](#) | [社会](#) | [暮らし](#) | [スポーツ](#) | [カルチャー](#) | [地域](#) | [オピニオン](#) | [スポニチ](#)

【夏得】3カ月50%OFFで読み放題キャンペーン中！

社説・解説を担当する論説委員のポッドキャストが始まりました

自民、女性議員増に向け提言 載を要請

政治 | 最新記事

毎日新聞 | 2026/7/13 20:03 (最終更新 7/13 21:16) | 718文字



稲田朋美氏

的な目標を設定し、支援策を検討すべきだと提起した。

女性候補、厳しい選挙区に？

例名へ夏生登

比例区での定数削減？

自民党の「女性議員増えよう」チーム）が、比例区議員の増加に向け、女性活躍推進特別委員会に提言は、女性国会議員の割合を2033年までに30%に引き上げる党の計画達成に向け、衆院選比例代表名簿への優先的な登載を要請。来春の統一地方選で「女性議員ゼロ議会」の解消を目指し、各都道府県連で具体

見 解

女性の政治参画を進めるための制度改革と 環境整備について



令和7年(2025年)11月17日

日 本 学 術 会 議

政治学委員会民主主義の深化と退行に関する比較政治分科会

法学委員会ジェンダー法分科会

(1) 政党は、候補者選定過程が女性を含む多様な人材を登用する仕組みとなっているかどうかを点検し、男性への偏りを取り除くための一層の党内改革を行うべきである。具体的には以下の組織改革を実行することが期待される。(本文3(6頁以下)参照)

- ① 政党組織のあり方をジェンダー視点から再考し、男女比が偏っている人事配置を見直す。特に党幹部(地方組織を含む)及び職員の男女均等を図る。
- ② 候補者選定過程については、候補者を選定する組織等の構成員を男女均等にし、候補者選定基準についてジェンダー視点から再考し、結果的に女性が不利になっている状況を改善する。候補者の多様化を促すために、選定過程の透明化を図る。候補者選定に携わる人員に対しては、候補者選定の際にジェンダー・ステレオタイプの影響を受けないよう研修を行う。
- ③ 女性候補者の人材育成及び支援を積極的に行い、女性の立候補を促すために党組織内外でのネットワーク化を進める。

(2) 政党は、候補者を擁立するにあたり、女性候補者割合の数値目標を定めるだけでなく、女性当選者が実際に増えるよう、幹部の責任において方策を定めるべきである。(本文3(6頁以下)参照)

(3) 国会は、政党助成制度を候補者男女均等法の趣旨を踏まえて再検討し、各政党が法の理念を尊重する度合いを考慮して、政党交付金の配分方法に反映させることが望まれる。例えば、政党交付金のうち得票数割の部分について、外形的基準である候補者の男女比に応じて、各政党への配分額を減額する措置が考えられる。制度化には憲法適合性を巡る議論が想定され、その論点を踏まえた慎重な制度設計が求められる。(本文4(10頁以下)参照)

(4) 国会は、「ジェンダーに配慮した議会」の観点から、現行の議会慣行の点検を行い、女性が男性と対等に参画しやすくするための工夫を重ねるべきである。具体的には以下を検討すべきである。(本文5(15頁以下)参照)

- ① 「議会のジェンダー配慮への評価に関するアンケート調査」結果に基づき、行動計画を策定する。
- ② 国会の委員会等の構成員ならびに役職者の男女比を会期ごとに公表する。
- ③ 議院運営委員会において、ジェンダーに配慮した議会運営を図るための機関を設ける。
- ④ すべての法律の審議過程においてジェンダー平等の視点から検討する機会を設ける。
- ⑤ 議会事務局にジェンダー問題に詳しい専門家を配置し、政策秘書の研修にジェンダー視点を含める。

(5) 国会と政党は、ハラスメント対応を充実化させるべきである。具体的には、①行為規範・ハラスメント規程を策定すること、②少なくとも年1回のハラスメント研修を議会・政党関係者に義務付けること、③国会と政党の活動に関わるあらゆる人を対象としたハラスメント相談窓口を設置し、独立性を備えた機関による適切な申立て手続きの仕組みを整えること、を検討すべきである。(本文6(18頁以下)参照)

ご清聴ありがとうございました

Explore 'New Dawn'

[Search collection](#)

Use the 'hot spots' below to explore Parliament's new women's suffrage artwork



New Dawn is a contemporary sculpture by Mary Branson commemorating the long campaign that led to some women gaining the vote in 1918, and all women in 1928.

New Dawn was unveiled on 7 June 2016, the 150th anniversary of [the first mass petition](#) submitted to Parliament calling for women's suffrage (the right to vote).

英国ウエストミンスター議会に設置された婦人参政権運動を記念する芸術作品